

会員だより

我が家の守護神

黒龍さん

私の住んでいるホームの直ぐ下（ホームの玄関は3階にあるのですが、エレベーターで1階まで降りて外に出たすぐのところ）に黒龍大神が祀られている小さな神社があります。

これはこの地方、西成山王町から阿倍野一体に古くから祀られているお社です。

黒龍大神保存会の由緒書によりますと昔このあたりの低地に明治末期頃まで大池があり大蛇が住み付き、付近住民から池の主としてあがめられていたといわれています。



黒龍大神神社

そこで地元民が池の周りに大蛇を守護神として、黒龍、白龍、天龍の大神として三つの祠を建て住民の信仰も厚かったそうです。

その信仰のお蔭で戦災にも合わず、大きな災いがないといい、黒龍さん、黒龍さんと親しまれ参詣者が絶えないのだそうです。



黒龍社の由来

私は最近、足の調子がよくないので今年の初詣は黒龍さんにしておこうかと思っていました。



堀越神社の黒龍社

幸い友人のお蔭で堀越神社へお参りすることが出来ました。堀越神社にも黒龍社が祀られています。堀越神社の帰りに黒龍さんにもお参りしました。



ココファン内の阿倍野神社

またホームの中にも阿倍野神社が祀られており、紙のお賽銭が用意されていました。新年のあれこれを集めてみました。

記・写真：牧戸富美子

西オーストラリアの初旅

＜その一＞

美しい街パースと 幸せ動物「クオッカ」

今年の空の初旅は1月14日の西オーストラリアのパースです。香港経由で正味所要時間12時間強、高槻駅発6時半の「はるか」に乗って、ホテルに着いたのが午後11時過ぎ、約8Kmのフライトです。オーストラリア大陸は、地理的に思っているより東の香港を南下した所であり、時差は日本より1時間早いです。つまり着いたのが12時すぎで本当は日本では15日になっている。



ワッセリンの大砂丘 前方にインド洋が広がる

季節は南半球なので日本と逆で、真夏だ。気温は32℃〜18℃で、日照りはきついが乾燥していて汗は殆どかかなかった。空の澄みきり度抜群。



ナンバン国立公園のピナクルズ

パースは西オーストラリア州の州都。19世紀後半にイギリスからの入植者によって開拓された港町で、街の中心に流れているスワンリバーの河口では野生のイルカが泳ぎ、支流は大島の奥地に入り込んでいる。

1時間余りの所にあるロットネスト島に日帰り旅行をした。この島全体が国立公園に指定され、一般住民は住んでいない。エメラルドグリーン海と白砂のビーチに囲まれ、一般車両乗り入れ禁止、島を指定のバスかレンタサイクルで一周するリゾートアイランドである。所々の入り江ではシュノーケルやボートを楽しんでいる。また「世界一幸せな動物」と言われる野生のクオッカに会える。



ロットネスト島に行くフェリー

両岸には世界の金持ちの邸やカジノ、ヨットハーバーがあり、フェリーが行き来する。そのフェリーで



口角が上がっていて微笑んでいるように見える可愛いクオッカ

3月に入ってから道に小枝が落ちていて清掃していました。隣の方が子犬と散歩している時、電柱の上のカラスの巣を見つけた。関西電力に連絡して処置して頂きましたが巣は撤去されず「カラスの巣の監視中」のテープが電柱に巻いてあります。



地上15m位に大きなカラスの巣 (高槻市富田町住宅地の電柱)

電柱の上にカラスの巣 頭上に注意を!!

カラスの被害はゴミを散らかすだけで無いです。

有袋類の一種で口角が上がっているのが、常に微笑んでいるように見える。島のショップピングモールの辺りにいるクオッカは全然人間に物怖じせず、餌やりは禁止と注意されているのに、リングやクッキーをかじっている。バスから見えた島の奥のクオッカは樹々の根辺りを走り回っていた。

記・写真：上村サト子

関電にお聞きすると、この時期、巣を取り除いてもすぐに巣を作るそうです。針状のカラス除けが一部取れていたの付け替えカラスの巣を監視しているとの事。巣は大停電を起こすそうです。カラスの繁殖期は、3月から7月、人への攻撃は4月〜6月に多く、特にお子さんには注意してあげて下さいとのこと。